

地域で輝く企業びと～農業組合法人アグリサービスこぐわ～



↑説明をされる相模さん

地域振興部会では、地元の企業や経営団体を知ってもらうために情報発信を行っています。今年度は、日本各地で発生した「令和の米騒動」が大変関心が高いため、蚕桑地区の農業法人「アグリサービスこぐわ」の相模さん、小林さんにお話を伺いました。
以下はその時の質問をまとめたものです。



↑アグリの事務所で説明を聞く

Q1.起業した経緯を教えて下さい

平成13年から西田尻転作大豆組合で大豆の生産を行っていましたが、将来的に個人で事業を行うには様々な問題があると思い平成16年に6人で法人を設立したことが始まりです。初めは大豆のみでしたが、そば、枝豆、ユーカリと広げ、平成27年から個人で行っていた米の生産も法人で行うようになりました。

Q2.従業員の人数と各々の仕事内容について

現在8名で米や大豆などの栽培から収穫まで担当や管理区域を決めて行っています。
繁忙期は地域の方を頼んで対応していますが、今は65才でも会社勤めをしている方が多いので、人集めで苦労しています。

Q3.作付けしている作物の種類と割合について

米 53.7ha (はえぬき 34.7ha、つや姫 12.8ha、コシヒカリ 0.6ha、雪若丸 5.6ha)



大豆 17.8ha (秘伝大豆 8.9ha、里のほほえみ 8.9ha)、枝豆 5.6ha (6品種)、そば 8.2ha (でわかおり)

キャベツ (加工用) 60a、ユーカリ露地 25a、ユーカリハウス 1120坪、タラの芽 35a

Q4.一年間の作業の流れと冬期間の対応

- 1月 タラの芽収穫、ユーカリ収穫 (ハウス)
- 2月 タラの芽収穫、ユーカリ収穫 (ハウス)
- 3月 水稲育苗の準備、タラの芽収穫、ユーカリ収穫 (ハウス)
- 4月 水稲育苗、タラの芽収穫
- 5月 田植え、枝豆播種
- 6月 水稲管理、枝豆播種、大豆播種、ユーカリ定植
- 7月 水稲管理、枝豆収穫、キャベツ種まき
- 8月 水稲管理、枝豆収穫、そば種まき、キャベツ定植
- 9月 稲刈、枝豆収穫
- 10月 稲刈、そば収穫、キャベツ収穫、ユーカリ収穫
- 11月 大豆収穫、キャベツ収穫、タラの芽穂木収穫、ユーカリ収穫 (露地)
- 12月 タラの芽促成栽培、ユーカリ収穫 (ハウス)



年間を通じて繁忙期とそうでない時はあるが、やることは多いです。

Q5.所有している機械と設備についてお聞きします

トラクター4台、田植え機（8条）2台、
コンバイン（6条）2台
肥料散布機1台、乗用管理機1台、ハイクリブーム1台、
播種機1台、畦塗機2台
除雪ロータリー1台、管理機1台、パイプハウス10棟、
格納ハウス2棟
軽トラック4台、軽ワゴン1台
近くにJAの白鷹カントリーエレベーターがあり、ここに米の
乾燥、調整作業を委託しています。



Q6.仕事で苦労していることなどは？

- 毎年のように起きる異常気象（高温、干ばつ、大雨等）により、栽培している作物の生育、収量、品質に大きな影響がでることです。
- 肥料・農薬等の生産資材や、軽油・ガソリン等の燃料の高騰です。
- 中山間地域のため、圃場の畦畔や法面が大きく、管理作業が大変です。
- ユーカリは、生産者が少ないと、試行錯誤しながら栽培を行っています。

↑今日のあたりまえが、未来へもつながる

Q7.今後の計画や目標をお聞かせください



↑アグリ事務所前

地域の農地を法人が継続して耕作していきたいと考えています。

そのために、人材を募集しています。（正社員）
4月～10月の繁忙期は休みが少なく、11月～3月は、休みが多いです。

1年間の変型労働時間制です。

“一緒に西田尻を耕しましょう！”



まとめ

一年を通していろいろな作物を生産することによって、仕事を切れ目なく回し、工夫をしていることは考えられているなと思いました。また、田んぼの育成管理に衛星の写真データを見るなど新しい技術も取り入れていて感心しました。

耕作放棄地をなくすためにも地域の農業法人にがんばってもらいたいと思いました。気象状況に影響を受ける大変な仕事ではありますが、若い方や女性の従業員が増えるといいですね。